



## ふるさとの秋 地域のなかで人とふれあい、絆を深める秋

9月下旬の夕方、三田の町中を歩いていると、どこからか太鼓の音が響いてきました。「祭りの季節がやってきたなあ」と感じていると、自身の幼少期の祭りが思い出されてきました。幼少期を過ごした丹波の祭りは、小さな村の秋祭りでした。稲刈りが終わった田んぼに囲まれた山裾の神社につくられた土俵にあがり、小学生もまわしを締めて相撲をとったものです。個人戦に団体戦、その後、大人の輪に入り、黒豆入りのおにぎりを頬張ったことも思い出されます。三田小の子は、この時期、お祭りの話をよくしてくれます。だんじりの練習をしていることやお祭りのごはんが楽しみなことなど、ふるさとの祭りを誇らしく話してくれます。秋は伝統文化が息づく地域の中で、人とふれあい、絆を深め、「ひと自分も学校もふるさとも大切にできる三田っ子」が育っていることを感じます。

## ふるさと三田につながる平和の願い！

6年生は修学旅行に向け、様々な実行委員会を作りました。「おりづる実行委員会」もその一つです。修学旅行前に、広島から来校された被爆二世の山岡さんから原爆と折り鶴の話聞き、平和への願いを折り鶴にして広島に届ける取組がスタートしました。実行委員が「つるの折り方動画」を作り、各教室を回り、協力を呼び掛けました。低学年教室では6年生と一緒に鶴を折りました。

9月22日、6年生108人全員が広島の地に立ち、原爆の子の像の前で、折り鶴を捧げ、歌「折り鶴」を歌いました。108人の歌声に多くの人が立ち止まり、歌声に耳を傾けていました。

10月8日、6年生は校区在住の志儀さんからお話を聞くことにしています。80年前の三田空襲のことや、当時の三田小学校の生活を教えてもらうことにしています。修学旅行の学びに加え、自分達が暮らす三田や三田小学校の歴史を学び、今、自分にできる「平和への一歩」を一人一人が考え、全校生に伝えてくれることと思います。

## ふるさとに贈るウォールアート 松竹梅桜

右の写真は、「はぐくみ」という兵庫県市町村教育委員会連合会発行の広報誌で、広く県内の小中学校などに配られているものです。この度、9月号の表紙に、6年生が市民センターに贈るウォールアートの写真が掲載されました。



広島平和記念公園での平和集会



現在、三田市民センターの外壁には地元中学生が描いた作品が飾られています。「市民センターを美術館にしたい!」と始まった市民センターウォールアートギャラリーに本校6年生の作品を贈る取組がスタートしたのは5月でした。「地域の人が明るい気持ちになれるような作品にしたい!」と話し合い、実行委員がペイント会社の方からペンキの扱いや色付けの指導を受け、休み時間などを使って6年生全員で作品を仕上げました。松竹梅桜が描かれたその作品が市民センターの壁を飾る日をお待ちください。



ペイント会社の方からの指導を受ける6年生

最初はできるかどうか、どんなものができるかなど、いろいろなことが不安だったし、わからなかったけど、やり始めるとどんどん出来上がっていき、最初は何も描かれていなかった木の板にどんどん色が塗られていって、やるのが楽しくなり、昼休みがなくなるのも嫌じゃなくなっていました。他の人と協力して何かを成し遂げることが好きになって、あまり話し合っていなかった人とも仲良くなれて実行委員になってよかったと思いました。 ～実行委員の感想から～

## 小学校での外国語（英語）教育

5・6年生になると時間割に週2時間の外国語（英語）の学習があります。校舎1階の校長室の隣の英語教室からは外国語（英語）の時間には大きな歓声が響いてきます。

外国語（英語）教育は、高学年だけではなくありません。低学年でも、中学年でも進めています。三田市では、「グローバル化に対応した教育」として、就学前から中学校までの期間を見通し、発達段階に応じた外国語（英語）教育を推進しています。3・4年生は週1時間の外国語活動の時間があり、三田小では、3年生は英語専科の指導、4年生は学級担任と外国語活動サポーターによる指導を行い、毎回、歌やアクティビティを通して、英語によるコミュニケーションを楽しむ学習を進めています。1・2年生も年間数回、ALTとの英語による会話を楽しむ学習機会を設定しています。

グローバル化の進展する社会の中で、国際的な視野に立って主体的に行動するために必要な力や異なる言語や文化、価値観を尊重する態度を育てることが求められています。外国語によるコミュニケーションの力や問題解決の力は、これからの職業で必要とされるばかりでなく、生涯にわたり様々な場面で必要とされるようになります。

外国語の学習では、ALT や外国語活動サポーターの本物の発音に触れ、相手を意識しながら、コミュニケーションの意義や楽しさを学んでいきます。日々の学習を通して、多くの子どもたちが外国語を用いて交流することに抵抗が減り、学習意欲やコミュニケーション能力の向上につながっていると感じています。



ALT と英語による会話を楽しむ1年生



アクティビティで英語を楽しむ3年生

## ≪10月の主な学校行事予定≫

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水	全校朝会 クラブ活動 (4,5,6年)	10	金	2年生 生活科「町たんけん」
3	金	人権参観・人権集会	16	木	後期歯科検診 代表委員会
6	月	なわとび大会 (全学年)	20	月	短縮授業日 (職員会議・研修の為) 全校下校 14:00
7	火	3年生陶芸教室① 4年生防災の学習	22	水	3年生福祉学習
8	水	児童朝会 6年生平和学習	23	木	家庭読書の日
9	木	3年生陶芸教室② 放課後学習 (1~3年)	30	水	子ども音楽会

- 7日、9日の3年生陶芸教室は、三田三輪明神窯史跡園指導者の指導で学習します。
- 7日の4年生防災学習は「さんだ防災リーダーの会」指導者のお話を聞き学習します。
- 10日の2年生「町たんけん」では、畑荒物店、大東文具店、藤本陶器店、トークゆうゆう、三田わくわく村、三田本町郵便局、小寺公園などをまわり、インタビュー等を行います。
- 22日の3年生福祉学習は、社会福祉協議会 認知症サポーターの指導で学習します。

## 人権集会「ちがいがカラフル わたしが広がる」

10月3日に実施した人権参観・人権集会では多くの保護者の皆様にご来校いただき、子ども達の学びの姿を参観いただくことができました。感謝申し上げます。

参観後には、パネルディスカッション「ちがいがカラフル わたしが広がる」を初めて実施し、保護者、地域の方、教職員が輪になり、「これからを生きる子ども達にどのように育ってほしいのか」を話し合うことができました。登壇いただいた地域関係者の皆様、参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

今回のテーマは多文化共生でした。学校は子ども達にとっての「小さな社会」と言われます。その小さな社会は多様な他者の集まりです。学年の違う子や性別が違う子はもちろんのこと、できることや、できる速さもみんな違います。障害のある子も共に生活しています。日本語での会話がうまくできない子や異なる文化や風習の中で育った子も一緒に生活をしています。これが子ども達にとっての「小さな社会」なのです。

今回のパネルディカッションでは、子ども達に、言葉や文化の違いを乗り越え、多様な他者と協働し「未来を切り開く力」を育むために、今、学校、地域、家庭で何ができるのかを考える機会となりました。これからも、三田小では、学校、地域、家庭が一体となり、これからを生きる子ども達の未来を語り合っていきたいと考えています。



小グループでテーマについて話し合う様子